

# 平成15年度 定期作況報告

(11月20日現在 年間とりまとめ)

北海道立中央農業試験場

# 水稲の部

稲作科 (岩見沢市)

## 気象概況

本年の根雪終日は4月9日で平年より3日遅く、遅霜は5月11日で平年より11日遅かった。

4月：平均気温は6.9 で平年より1.1 高く、日照時間は平年の98%、降水量は平年の106%であった。  
 5月：平均気温は12.0 で平年より0.1 低く、日照時間は平年の144%、降水量は平年の50%であった。  
 6月：平均気温は16.3 で平年より0.3 高く、日照時間は平年の115%、降水量は平年の96%であった。  
 7月：平均気温は17.3 で平年より3.6 低く、日照時間は平年の124%、降水量は平年の31%であった。  
 8月：平均気温は20.2 で平年より1.4 低く、日照時間は平年の87%、降水量は平年の106%であった。  
 9月：平均気温は16.5 で平年より0.6 低く、日照時間は平年の102%、降水量は平年の84%であった。  
 10月：平均気温は10.4 で平年より0.3 低く、日照時間は平年の116%、降水量は平年の139%であった。

本年の初霜は10月8日で平年より13日早く、降雪初日は11月7日で平年より14日遅かった。

以上農耕期間の5月から9月についてまとめると、6月までは平年並みの気象条件で推移したものの7月から9月までは極めて低温に推移し、特に7月は記録的な低温に見舞われた。日照時間は5~7月までは平年より多く、8月と9月はほぼ平年並みであった。降水量は5月と7月が特に少なかったが、他はほぼ平年並みであった。

5月から9月までの積算値では、平均気温は166 低く、日照時間は平年の115%、降水量は71%であった。

## 気象表

月旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)			日照時間 (h)			降水量 (mm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
4月上旬	3.6	3.5	0.0	8.6	7.5	1.1	-1.5	-0.5	-1.0	69.6	61.9	7.8	2.5	16.0	-13.5
	8.2	5.6	2.6	12.5	10.1	2.4	3.9	1.1	2.7	54.1	53.5	0.6	25.0	22.3	2.8
	8.8	8.3	0.5	13.7	13.4	0.4	4.0	3.3	0.7	41.8	54.2	-12.4	31.5	17.6	13.9
5月上旬	9.5	10.1	-0.6	15.2	14.8	0.3	3.9	5.5	-1.5	82.6	54.9	27.7	37.0	41.1	-4.1
	11.8	12.0	-0.2	17.3	16.8	0.6	6.3	7.3	-1.0	71.6	56.8	14.8	10.5	36.3	-25.8
	14.4	14.0	0.3	20.1	18.8	1.3	8.6	9.2	-0.6	90.9	58.7	32.2	8.5	33.9	-25.4
6月上旬	14.2	14.1	0.1	19.8	18.4	1.4	8.5	9.7	-1.2	90.9	53.7	37.2	26.0	17.9	8.1
	18.2	16.6	1.6	22.7	21.1	1.5	13.6	12.0	1.6	67.2	61.5	5.7	31.0	22.9	8.1
	16.5	17.4	-0.9	20.3	21.8	-1.5	12.8	13.1	-0.3	43.3	59.8	-16.5	6.0	25.0	-19.0
7月上旬	16.8	19.1	-2.3	21.3	23.1	-1.7	12.3	15.2	-2.9	67.4	45.3	22.1	18.5	36.4	-17.9
	17.1	20.8	-3.7	20.6	24.8	-4.2	13.5	16.7	-3.2	49.6	47.0	2.6	12.0	41.1	-29.1
	18.0	22.6	-4.6	21.6	26.2	-4.7	14.4	18.9	-4.5	57.0	47.8	9.2	16.0	72.7	-56.7
8月上旬	21.2	21.9	-0.7	24.2	25.7	-1.5	18.2	18.1	0.1	34.2	51.2	-17.0	97.0	48.6	48.4
	20.1	21.4	-1.3	23.8	25.2	-1.4	16.4	17.6	-1.2	54.6	49.2	5.4	2.0	34.1	-32.1
	19.7	21.4	-1.7	23.5	25.3	-1.8	15.8	17.5	-1.7	46.6	55.2	-8.6	51.5	59.8	-8.3
9月上旬	18.3	19.2	-0.9	22.6	23.5	-0.9	14.0	14.9	-0.9	51.9	54.7	-2.8	20.5	43.5	-23.0
	17.1	17.5	-0.4	21.5	21.4	0.1	12.8	13.6	-0.8	44.3	46.1	-1.8	33.0	51.4	-18.4
	14.2	14.7	-0.5	18.5	19.2	-0.6	9.9	10.3	-0.4	57.6	49.4	8.2	68.5	51.2	17.4
10月上旬	11.1	12.8	-1.7	16.3	17.2	-0.9	6.0	8.4	-2.4	63.2	46.0	17.2	28.0	42.9	-14.9
	9.7	10.6	-0.9	14.0	15.2	-1.2	5.5	6.0	-0.5	35.9	41.8	-5.9	30.5	33.7	-3.2
	10.5	9.0	1.5	14.2	13.4	0.8	6.7	4.6	2.2	45.1	46.1	-1.0	107.5	42.7	64.8

注) データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は平成5年~14年の10か年平均値を農試が算出し、使用。

最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

農耕期間積算値(5月～9月)

区別	平均気温(°C)	降水量(mm)	日照時間(h)
本年	2520	438	910
平年	2686	616	791
比較	-166	-178	119

注 1)平均気温は日最高気温と日最低気温の平均値である。

2)岩見沢測候所の観測値を使用した。

3)平年値は前10か年の岩見沢試験地内における観測値の平均(1992～2001)

ただし1995年のすべておよび日照時間については岩見沢測候所の観測値を代用した。

季節調査(年.月.日)

区別	根雪初日	根雪終日	降雪終日	耕鋤始	晩霜	初霜	降雪初日
本年	H15.11.15	H15.4.9	H15.4.9	H15.4.28	H15.5.11	H15.10.8	H15.11.7
平年	11.30	4.6	4.15	4.29	4.30	10.21	10.24
比較	-15	3	-6	-1	11	-13	14

注 1)平年値は前10か年の平均を使用した。

2)霜および雪は岩見沢測候所の観測値である。

試験方法

土 壤 無機質表層低位泥炭土

施 肥 高度化成 S264全層施肥 N = 8, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> = 9.7, K<sub>2</sub>O = 6.9kg/10a 堆肥 1500kg/10a

播種量 :中苗紙筒 = 180cc/箱

栽植密度 :30×13.3cm 25株/m<sup>2</sup> 4本植え

移植方法 :手植え

反 復 :2

## 作況

水稻 作況：不良

事由：播種は4月18日に行った。出芽期および出芽揃いは平年並であった。やや低温、多照により苗の生育は平年並であったが、葉数がやや少なく、地上部乾物重がやや多かった。移植は5月19日に行った。日照時間が多かったにもかかわらず、低夜温、強風の影響で活着から初期の生育はやや不良で、特に茎数が平年より少なかった。さらに6月6半旬から8月1半旬の著しい低温により幼穂形成期は平年より約2週間遅れ、出穂も10日以上遅れ、揃いも悪く、さらに不稔も2割程度発生した。引続く低温により登熟は全般に緩慢で、成熟期は平年より2週間程度遅く、10月にずれ込んだ。

成熟期における稈長および穂長は平年より短く、 $m^2$ 当たり穂数は平年並であった。一穂籾数は平年より少なく、 $m^2$ 当たり籾数は平年の85%程度であった。登熟歩合は平年より低く、屑米が多く、千粒重が小さく、精玄米収量は「きらら397」で平年比77%、「ほしのゆめ」で65%であった。

低温の影響で生育期間中における病害虫等の大きな発生はなかった。

以上、本年は7月以降の低温の影響で生育が遅延し、生育量も小さく、収量構成要素がすべて平年を下回り、30%程度減収した。

以上のことから、本年の作況は不良である。

品種名		中苗 きらら397			中苗 ほしのゆめ		
項目	年次	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.18	4.21	3	4.18	4.21	3
移植期	(月.日)	5.19	5.21	2	5.19	5.21	2
幼穂形成期	(月.日)	7.13	7.09	4	7.14	7.08	6
止葉期	(月.日)	8.02	7.24	9	7.31	7.22	9
出穂期	(月.日)	8.15	8.05	10	8.14	8.02	12
成熟期	(月.日)	10.06	9.24	12	10.05	9.19	16
穂揃日数	(日)	12.0	6.8	5.2	11.0	7.0	4.0
登熟日数	(日)	52	40	2	52	48	4
生育日数	(日)	171	156	15	170	151	19
草丈 (cm)	移植時	8.5	10.0	1.5	9.5	11.0	1.5
	6月20日	22.7	23.6	0.9	23.3	25.7	2.4
	7月20日	39.7	54.3	14.6	43.3	58.5	15.2
茎数 (本/ $m^2$ )	移植時	1.2	1.1	0.1	1.0	1.1	0.1
	6月20日	195	279	84	220	284	64
	7月20日	613	697	84	593	722	129
主稈 葉数 (枚)	移植時	3.1	3.2	0.1	2.8	3.1	0.3
	6月20日	6.5	6.9	0.4	6.0	6.4	0.4
	7月20日	9.4	10.6	1.2	8.6	9.8	1.2
	止葉	10.8	11.3	0.5	9.5	10.1	0.6
稈長	(cm)	51.1	62.4	11.3	53.3	62.3	9.0
穂長	(cm)	15.4	16.6	1.2	14.4	15.5	1.1
穂数	(本/ $m^2$ )	585	615	30	641	593	48
一穂籾数	(粒)	47.2	51.9	4.7	36.1	47.7	11.6
$m^2$ 当籾数	(百粒)	276	320	44	231	282	51
稔実歩合	(%)	84.8	82.9	1.9	82.8	92.9	10.1
登熟歩合	(%)	63.6	76.2	12.6	68.0	82.1	14.1
籾摺歩合	(%)	73.9	77.8	3.9	66.9	77.8	10.9
屑米歩合	(%)	10.8	5.9	4.9	22.0	6.5	15.5
千粒重	(g)	21.7	23.1	1.4	21.3	22.1	0.8
わら重	(kg/a)	57.4	66.3	8.9	58.2	58.2	0.0
精籾重	(kg/a)	54.0	66.5	12.5	48.1	64.1	16.0
精玄米重	(kg/a)	39.9	51.7	11.8	32.2	49.9	17.7
収量平年対比	(%)	77	100	23	65	100	35
検査等級		3上	2上	-	3上	2上	-

注1)平年値は前7か年中、平成9年(最凶)、10年(最豊)を除く5か年平均。

注2)刈り取り面積は一区2.4 $m^2$ 、精玄米重以下は水分15%換算値を、篩目は1.9mmを使用した。

# 畑作の部

畑作科 (長沼町)

## 気象概況

平成14年 9月から平成15年11月中旬までの概況は次のとおりである。

平成14年

9月：気温は上旬がやや高く、中下旬は低かった。降水量は上中旬は少なく、下旬は平年並であった。日照時間は1カ月を通じ多かった。

10月：気温は上旬は高く、中旬は平年並み、下旬は低かった。降水量は上下旬はやや多く、中旬は少なかった。日照時間は中旬は多く、上下旬は少なかった。初霜日は平年より2日早い10月19日で、降雪始は平年より2日早い10月29日であった。

11月：1ヶ月を通じ気温は低く推移し、降水量は上下旬が多く、中旬は平年並であった。日照時間は上下旬が少なく、中旬は平年並であった。

12月：気温は1ヶ月を通じ低く、とくに下旬は低かった。降水量は少なく、日照時間は上旬が多く、中下旬は平年並であった。根雪始は平年より1日遅い12月6日であった。

平成15年

1月～2月：気温は2月下旬が低かったが、他は平年並に推移し、降水量は平年並からやや少なかった。日照時間は平年並に推移した。

3月：気温は中旬はやや低く、下旬はやや高かった。降水量はやや少なく、日照時間は中下旬にやや多く、そのため融雪は早くなり6日早い3月30日に根雪終となった。積雪期間は平年に比べ7日短い114日であった。

4月：気温は中旬がやや高く、上下旬は平年並であった。降水量は上中旬が平年並で、下旬がやや多かった。日照時間は上中旬が平年並で、下旬は少なかった。

5月：気温は平年並で、降水量は上旬が平年並で、中下旬は少なかった。日照時間は平年並であった。

6月：気温は中旬高く、下旬はやや低かった。降水量は中旬に多かった。日照時間は上旬が多く、下旬が少なかった。

7月：気温は著しく低く、とくに中下旬では平年に比べ3.2～4.2 低かった。降水量は1ヶ月を通じ少なく、日照時間は上、下旬に多かった。

8月：気温は上旬は平年並であったが、中下旬は再び低かった。降水量は台風の影響により上旬には131.5mmと多く、中下旬は少なかった。日照時間は上旬に少なかった。

9月：気温は上旬に低く、降水量は上中旬にやや少なく、下旬に多かった。日照時間は下旬にやや多かった。

10月：気温は上旬は低く、下旬は高かった。降水量は上中旬が少なく、下旬には119.0mmと多かった。日照時間は上旬が多く、中下旬はやや少なかった。初霜は平年並の10月21日であった。

11月：気温は上旬が高かった。降水量は少なく、日照時間は上旬が多かった。降雪始は平年に比べ7日遅い11月8日であった。

以上、農耕期間(4～10月)の気象を要約すると、6月中旬までは平年並の気温であったが、6月下旬から9月上旬までは気温は低く経過し、とくに7月は1カ月を通じて著しい低温であった。積算平均気温は平年に比べ129 低い2,946 であった。降水量は8月上旬、9月下旬、10月下旬に多く、積算降水量では平年に比べ73mm少ない1674mmであった。日照時間は平年並の968時間であった。

気象表

道立中央農試(アメダス長沼)

年月	旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平成14年	上旬	19.9	18.9	1.0	24.6	23.0	1.6	15.4	15.1	0.3	2.0	44.2	-42.2	1.0	5.2	-4.2	57.0	49.8	7.2
	中旬	15.8	17.0	-1.2	21.2	21.2	0.0	10.0	13.0	-3.0	9.0	49.6	-40.6	1.0	4.0	-3.0	60.6	44.8	15.8
	下旬	13.8	15.0	-1.2	19.5	19.6	-0.1	8.0	10.2	-2.2	48.0	49.7	-1.7	2.0	4.8	-2.8	52.7	48.3	4.4
10月	上旬	14.9	12.6	2.3	19.3	17.2	2.1	10.7	7.9	2.8	71.0	38.9	32.1	6.0	3.9	2.1	31.3	45.6	-14.3
	中旬	11.5	10.6	0.9	16.7	15.6	1.1	6.0	5.5	0.5	0.5	31.9	-31.4	0.0	3.9	-3.9	65.6	47.7	17.9
	下旬	6.9	9.1	-2.2	11.0	13.8	-2.8	3.1	4.3	-1.2	62.0	34.1	27.9	6.0	5.1	0.9	36.0	49.3	-13.3
11月	上旬	3.1	6.1	-3.0	6.4	10.3	-3.9	-0.5	1.7	-2.2	44.5	22.1	22.4	7.0	4.5	2.5	25.4	38.0	-12.6
	中旬	1.6	3.4	-1.8	5.4	7.3	-1.9	-2.5	-0.7	-1.8	26.0	32.5	-6.5	3.0	5.5	-2.5	32.3	29.2	3.1
	下旬	0.5	1.7	-1.2	3.5	5.1	-1.6	-2.5	-1.6	-0.9	69.0	27.5	41.5	6.0	5.2	0.8	18.0	31.9	-13.9
12月	上旬	-2.6	-1.4	-1.2	1.3	1.9	-0.6	-6.5	-5.2	-1.3	2.0	23.1	-21.1	1.0	5.3	-4.3	50.7	26.6	24.1
	中旬	-4.8	-3.9	-0.9	-1.8	-0.4	-1.4	-9.0	-8.2	-0.8	17.5	29.3	-11.8	5.0	6.5	-1.5	31.9	30.0	1.9
	下旬	-8.9	-4.4	-4.5	-4.6	-0.5	-4.1	-13.3	-9.2	-4.1	20.5	27.1	-6.6	6.0	6.5	-0.5	34.8	33.2	1.6
平成15年	上旬	-5.4	-5.7	0.3	-1.5	-1.8	0.3	-11.1	-10.5	-0.6	25.5	29.4	-3.9	4.0	5.2	-1.2	45.4	30.8	14.6
	中旬	-7.1	-6.9	-0.2	-2.9	-3.0	0.1	-13.1	-12.2	-0.9	16.5	23.0	-6.5	4.0	5.6	-1.6	33.5	31.0	2.5
	下旬	-6.0	-7.0	1.0	-2.1	-2.9	0.8	-10.4	-12.1	1.7	32.0	24.6	7.4	5.0	6.4	-1.4	30.7	42.3	-11.6
2月	上旬	-4.7	-6.7	2.0	-0.6	-2.5	1.9	-10.0	-11.8	1.8	5.0	19.0	-14.0	3.0	4.9	-1.9	45.7	42.5	3.2
	中旬	-6.1	-5.6	-0.5	-3.0	-1.6	-1.4	-10.3	-10.7	0.4	12.0	25.5	-13.5	5.0	6.2	-1.2	32.7	43.4	-10.7
	下旬	-9.0	-3.9	-5.1	-3.2	0.1	-3.3	-15.7	-9.1	-6.6	3.5	14.4	-10.9	3.0	4.1	-1.1	59.0	40.4	18.6
3月	上旬	-3.4	-3.5	0.1	-0.1	0.7	-0.8	-7.4	-8.7	1.3	15.0	18.5	-3.5	4.0	4.5	-0.5	46.5	57.2	-10.7
	中旬	-2.7	-1.1	-1.6	1.6	2.4	-0.8	-7.6	-5.3	-2.3	11.0	12.0	-1.0	3.0	4.0	-1.0	69.4	54.4	15.0
	下旬	2.0	0.9	1.1	5.9	4.5	1.4	-1.9	-3.2	1.3	11.5	26.5	-15.0	3.0	5.0	-2.0	71.7	57.2	14.5
4月	上旬	3.8	3.5	0.3	9.3	7.5	1.8	-1.3	-0.5	-0.8	6.0	10.8	-4.8	2.0	3.4	-1.4	61.5	53.8	7.7
	中旬	7.5	5.9	1.6	12.0	10.3	1.7	3.7	1.6	2.1	21.5	17.0	4.5	5.0	3.3	1.7	46.2	50.5	-4.3
	下旬	8.2	8.2	0.0	13.2	13.2	0.0	3.5	3.4	0.1	34.5	18.3	16.2	4.0	3.4	0.6	31.8	53.4	-21.6
5月	上旬	9.3	9.5	-0.2	14.5	14.2	0.3	3.6	5.1	-1.5	33.0	37.8	-4.8	3.0	4.6	-1.6	53.8	50.9	2.9
	中旬	10.5	11.4	-0.9	15.9	16.2	-0.3	6.5	7.1	-0.6	2.0	38.3	-36.3	1.0	4.1	-3.1	42.6	49.2	-6.6
	下旬	12.9	13.1	-0.2	18.7	17.7	1.0	8.3	9.1	-0.8	7.5	33.7	-26.2	2.0	4.4	-2.4	48.8	49.5	-0.7
6月	上旬	13.7	13.5	0.2	18.8	17.8	1.0	8.8	10.0	-1.2	26.5	21.6	4.9	1.0	3.8	-2.8	70.1	45.4	24.7
	中旬	17.1	15.4	1.7	21.6	19.8	1.8	13.5	11.9	1.6	32.5	14.4	18.1	2.0	2.2	-0.2	47.8	46.7	1.1
	下旬	15.3	16.2	-0.9	19.3	20.5	-1.2	12.7	12.8	-0.1	11.0	19.3	-8.3	4.0	3.2	0.8	29.7	48.3	-18.6
7月	上旬	15.5	18.0	-2.5	19.5	21.9	-2.4	12.3	15.0	-2.7	29.5	43.9	-14.4	1.0	4.0	-3.0	54.2	35.8	18.4
	中旬	16.5	19.7	-3.2	20.0	23.7	-3.7	13.7	16.6	-2.9	5.5	39.7	-34.2	1.0	3.6	-2.6	34.8	35.6	-0.8
	下旬	17.1	21.3	-4.2	21.0	25.0	-4.0	14.2	18.6	-4.4	16.5	49.8	-33.3	1.0	4.2	-3.2	44.0	34.7	9.3
8月	上旬	20.4	20.8	-0.4	23.4	24.7	-1.3	18.2	17.9	0.3	131.5	55.9	75.6	4.0	3.7	0.3	21.1	41.1	-20.0
	中旬	19.3	20.5	-1.2	23.3	24.1	-0.8	16.6	17.6	-1.0	4.5	44.2	-39.7	3.0	4.0	-1.0	44.3	36.3	8.0
	下旬	19.4	20.6	-1.2	23.8	24.5	-0.7	16.0	17.3	-1.3	21.5	58.4	-36.9	5.0	4.3	0.7	40.1	45.9	-5.8
9月	上旬	18.0	19.1	-1.1	22.5	23.4	-0.9	14.3	15.1	-0.8	26.5	37.8	-11.3	4.0	4.6	-0.6	51.6	52.4	-0.8
	中旬	17.1	17.1	0.0	21.6	21.4	0.2	12.7	13.0	-0.3	28.0	47.8	-19.8	3.0	3.7	-0.7	42.7	44.4	-1.7
	下旬	14.5	15.1	-0.6	19.1	19.9	-0.8	10.0	10.3	-0.3	81.5	48.6	32.9	3.0	4.4	-1.4	59.6	48.6	11.0
10月	上旬	11.6	12.9	-1.3	17.0	17.5	-0.5	6.2	8.3	-2.1	27.5	41.0	-13.5	3.0	4.2	-1.2	63.3	43.5	19.8
	中旬	10.2	10.9	-0.7	14.2	15.7	-1.5	5.9	5.7	0.2	7.5	31.9	-24.4	4.0	3.9	0.1	38.1	47.5	-9.4
	下旬	10.8	8.9	1.9	14.5	13.5	1.0	6.3	4.1	2.2	119.0	35.8	83.2	6.0	5.1	0.9	41.5	48.7	-7.2
11月	上旬	8.1	5.9	2.2	11.6	10.1	1.5	4.1	1.6	2.5	4.5	23.2	-18.7	1.0	4.7	-3.7	46.7	36.5	10.2
	中旬	3.9	3.2	0.7	8.3	6.9	1.4	-0.9	-0.9	0.0	14.5	32.9	-18.4	5.0	5.5	-0.5	29.2	28.9	0.3

注1) データは「アメダス長沼」を使用。平年値は過去10年間(平成14年:平成4~13年、平成15年:平成5~14年)の確定値を中央農試で平均し、本年値は平成14,15年の速報値を用いた。

注2) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

季節表

年次	根雪始 (年.月.日)	根雪終 (年.月.日)	積雪期間 (日)	降雪終 (年.月.日)	耕鋤始 (年.月.日)	晩霜 (年.月.日)	初霜 (年.月.日)	無霜期間 (日)	降雪始 (年.月.日)
本年	H14. 12.06	H15. 03.30	114	H15. 04.09	H15. 04.11	H15. 05.10	H15. 10.21	163	H15. 11.08
平年	12.05	04.05	121	04.12	04.21	04.30	10.21	173	11.01
比較	1	-6	-7	-3	-10	10	0	-10	7

注)平年値は中央農試における平成5年～14年の10年間の平均値を用いた(根雪始のみ平成4～13年の平均値)。

農耕期間の積算値

期間	項目	平均気温 ( )	最高気温 ( )	最低気温 ( )	降水量 (mm)	日照時間 (hr)
	4～10月	本年	2,946	3,909	2,100	674
平年		3,075	4,002	2,247	746	962
比較		129	93	147	72	6
5～9月	本年	2,415	3,093	1,850	458	685
	平年	2,566	3,214	2,018	591	665
	比較	151	121	168	133	20

## 作況

### 1. 秋まき小麦 作況：やや良

事由：播種期は平年に比べ3日早い9月10日で、出芽期は5日早かった。そのため10月下旬以降低温に経過したが、越冬前の生育は良好であった。積雪期間は平年に比べ7日少なく、根雪終も6日早かったことから冬損程度は少なく、その後の気温も平年並～やや高く推移したため生育は良好で、出穂期以降も茎数、草丈は平年を上回った。7月に入り著しい低温のため成熟期は遅れたが、登熟期間が延長したため穂数、穂長は平年を上回った。また、千粒重、リットル重も平年並であった。そのため子実重は「ホロシリコムギ」で平年比130%、「ホクシン」で123%の多収となった。穂発芽は見られなかったが、登熟期後半の倒伏により外観品質が劣り、両品種とも規格外となった。

以上のことから本年の作況はやや良である。

品種名 項目 \ 年次		ホロシリコムギ			ホクシン		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(H14.月.日)	9.10	9.13	3	9.10	9.13	3
出芽期	(H14.月.日)	9.17	9.22	5	9.17	9.22	5
出穂期	(H15.月.日)	6.08	6.09	1	6.03	6.05	2
成熟期	(H15.月.日)	7.29	7.23	6	7.19	7.19	0
冬損程度	(0:無～5:甚)	0.8	1.2	0.4	1	1.4	0.4
草丈 (cm)	H13.10.20	28.3	21.8	6.5	30	22.5	7.5
	H14.5.20	59.3	45.4	13.9	61.3	44.8	16.5
	H14.6.20	119	99	20	112	93	19
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	H13.10.20	1141	1011	130	1169	1085	84
	H14.5.20	1345	1195	150	1270	1226	44
	H14.6.20	813	617	196	834	710	124
成熟期 に おける	稈長 (cm)	103	94	9	96	88	8
	穂長 (cm)	9.0	8.4	0.6	10.0	8.2	1.8
	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	627	533	94	696	624	72
子実重	(kg/10a)	613	473	140	632	515	117
リットル重	(g)	793	762	31	812	777	35
千粒重	(g)	44.4	44.1	0.3	39.5	39.2	0.3
品質	(等級)	規格外	2下	-	規格外	2下	-
子実重平年対比	(%)	130	100	30	123	100	23

注 平年値は前7か年中、平成9年(最凶)、14年(最豊)を除く5か年平均(各収穫年度)。



## 2. 春まき小麦 作況：良

事由：供試圃場の融雪期が早く、また融雪後降雨が少なく圃場の乾燥が進んだため、播種は平年より8日早い4月16日に行った。播種後の気温が平年並からやや高めに経過したため、平年より11日早い4月26日に出芽期に達した。出芽は斉一で、出芽個体数は播種粒数とほぼ同等の345個体/m<sup>2</sup>であった。出芽が早かったため生育は進み、この間やや低温の時期があったものの、出穂期は平年より7日早い6月17日となった。降雨が少なかったため、葉先の枯れが多発した。

登熟期間は低温に経過したため、登熟日数は平年より11日長く、成熟期は平年より4日遅い8月5日となった。播種が早かったため生育は旺盛で、稈長は平年より長く、穂数は平年よりやや多かった。加えて登熟期間が長くなったため千粒重が重く、子実重は492kg/10aと平年比181%の著しい多収となった。品質等級は、開溝粒がみられたものの、赤かび粒及び発芽粒はなく、2等に格付けされた。

以上により、本年の作況は良である。

品種名		ハルユタカ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.16	4.24	8
出芽期	(月.日)	4.26	5.07	11
出穂期	(月.日)	6.17	6.24	7
成熟期	(月.日)	8.05	8.01	4
草丈 (cm)	5月20日	23.7	13.4	10.3
	6月20日	77	63	14
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	5月20日	817	370	447
	6月20日	633	635	2
成熟期 に おける	稈長 (cm)	88	81	7
	穂長 (cm)	8.6	8.6	0.0
	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	473	436	37
子実重	(kg/10a)	492	272	220
リットル重	(g)	816	756	60
千粒重	(g)	44.1	35.4	8.7
品質	(等級)	2下	規格外	-
子実重平年対比	(%)	181	100	81

注 平年値は前7か年中、平成8年(最凶)、14年(最豊)を除く5か年平均。

### 3.大豆 作況：やや不良

事由：播種期は平年より3日早い5月20日であった。出芽期は平年より4～5日早かったが、少雨の影響により出芽はやや不揃いであった。6月中旬までは高温で日照時間もやや多く、生育は順調であった。しかし、6月下旬以降の低温により、開花期は平年より「ツルムスメ」で4日、「ユウヅル」で7日遅かった。8月以降も引き続き低温少照で経過したため、生育は遅れ、成熟期は平年より「ツルムスメ」で12日、「ユウヅル」で10日遅れとなった。

中生の「ツルムスメ」は、一莢内粒数は平年より少なかったが、着莢数は平年を上回り、登熟期間が延長したことから百粒重が平年を上回った。このため、子実重は355kg/10aと平年比109%の良であった。外観品質は平年並であった。

晩生の「ユウヅル」は、徒長による倒伏の多発および生育の遅れから、一莢内粒数は平年並であったが、着莢数および百粒重は平年を下回った。このため、子実重は291kg/10aと平年比78%の不良であった。外観品質は裂皮が多発したため、平年より劣る規格外であった。

以上により、本年の作況はやや不良である。

品種名 項目 \ 年次		ツルムスメ			ユウヅル		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.20	5.23	3	5.20	5.23	3
出芽期	(月.日)	5.31	6.04	4	5.30	6.04	5
開花期	(月.日)	7.25	7.21	4	8.05	7.29	7
成熟期	(月.日)	10.10	9.28	12	10.24	10.14	10
主茎長 (cm)	6月20日	9.8	10.3	0.5	9.9	10.1	0.2
	7月20日	36.0	41.0	5.0	34.0	36.9	2.9
	8月20日	57.6	54.2	3.4	86.3	72.3	14.0
	9月20日	59.6	55.6	4.0	90.3	74.0	16.3
	成熟期	57.5	54.9	2.6	88.1	73.8	14.3
主茎節数 (節)	6月20日	3.7	3.3	0.4	3.7	3.2	0.5
	7月20日	9.7	9.8	0.1	9.6	9.5	0.1
	8月20日	12.7	12.4	0.3	16.7	14.6	2.1
	9月20日	12.4	12.6	0.2	16.3	15.1	1.2
	成熟期	12.0	12.4	0.4	16.3	15.1	1.2
分枝数 (本/株)	7月20日	4.5	4.4	0.1	3.5	2.4	1.1
	8月20日	6.3	5.7	0.6	5.3	5.4	0.1
	9月20日	7.4	5.6	1.8	3.6	5.1	1.5
	成熟期	6.8	5.9	0.9	3.3	5.0	1.7
着莢数 (莢/株)	9月20日	56.2	50.6	5.6	45.2	58.9	13.7
	成熟期	56.4	50.8	5.6	48.2	59.2	11.0
一莢内粒数	(粒)	1.69	1.97	0.28	1.94	1.89	0.05
子実重	(kg/10a)	355	325	30	291	371	80
百粒重	(g)	47.1	43.6	3.5	38.6	43.3	4.7
屑粒率	(%)	1.6	1.3	0.3	5.3	1.0	4.3
品質	(等級)	3上	3上	-	規格外	3上	-
子実重平年対比	(%)	109	100	9	78	100	22

注1) 平年値は前7か年中、平成10年(最豊)、14年(最凶)を除く5か年平均。

注2) 前期の「ツルムスメ」の一莢内粒数は誤りで、上記数値に訂正します。

#### 4. 小豆 作況：良

事由：播種期は平年より5日遅い5月26日であった。播種後干ばつ傾向であったことから出芽は6月9日であった。6月の気象は平年並に推移し、生育は平年並であったが、7月は著しい低温であったことから開花期は遅れ、平年に比べ9日遅い8月2日であった。その後も低温傾向に推移し生育は遅れ、成熟期は平年に比べ19日遅い9月25日であった。登熟期間が低温で長かったことから、8月中旬以降の着莢が多くなり、莢数は平年に比べ多くなった。また、百粒重も大きくなり、一莢内粒数も平年並であったことから子実重は平年を大きく上回り、398kg/10a（平年比160%）であった。

品質は、成熟期前に降雨が多く、登熟期後半の気温が低かったことから充実が不足しやや劣った。雨害粒の発生は少なく、屑粒率は低かった。

以上のことから、本年の作況は良である。

品種名 項目 \ 年次		エリシヨウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.26	5.21	5
出芽期	(月.日)	6.09	6.03	6
開花期	(月.日)	8.02	7.24	9
成熟期	(月.日)	9.25	9.06	19
主茎長 (cm)	6月20日	3.6	4.9	1.3
	7月20日	11.2	19.6	8.4
	8月20日	49.8	49.5	0.3
	成熟期	53.2	48.9	4.3
主茎節数 (節)	6月20日	1.8	1.6	0.2
	7月20日	6.6	7.6	1.0
	8月20日	11.3	12.5	1.2
	成熟期	12.1	12.0	0.1
分枝数 (本/株)	7月20日	4.1	2.3	1.8
	8月20日	5.2	3.7	1.5
	成熟期	5.0	3.5	1.5
着莢数 (莢/株)	8月20日	30.0	39.3	9.3
	成熟期	53.8	42.0	11.8
一莢内粒数	(粒)	6.53	6.55	0.02
子実重	(kg/10a)	398	248	150
百粒重	(g)	14.5	12.1	2.4
屑粒率	(g)	2.6	6.1	3.5
品質	(等級)	4中	3上	-
子実重平年対比 (%)		160	100	60

注)平年値は前8か年中、平成12年(最凶)、14年(最豊)および8年(茎疫病多発)を除く5か年平均。

## 5. ばれいしょ 作況：やや良

植付期は4月28日で、平年より3日早かった。萌芽期は5月25日でほぼ平年並みであった。萌芽後、6月中旬まで高温・多照・乾燥気味で経過したため、平年を上回る順調な生育で進み、開花始は6月22日で平年より3日早かった。7月上旬から収穫までは低温で経過した。乾燥状態は6月下旬に一旦解消されたが、7月下旬には再び早魓気味になった後、8月9日前後の台風の接近により高温・多雨となった。このため、急激な塊茎肥大を招き、裂開などの生理障害の発生が目立った。早魓気味により茎葉の黄化も早まり、枯凋期は8月14日と平年より9日早かった。上いも1個重は平年並であったが、上いも数は平年比115%と多かったため、上いも重は4,260kg/10aと平年比110%、中以上いも重は3,494kg/10aと平年比112%の多収であった。でん粉価は15.9%で平年よりかなり高かった。

以上により、本年の作況はやや良である。

項目 \ 年次		品種名		
		男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	4.28	5.01	3
萌芽期	(月.日)	5.25	5.26	1
開花始	(月.日)	6.22	6.25	3
枯凋期	(月.日)	8.14	8.23	9
茎長 (cm)	6月20日	38	30	8
	7月20日	42	39	3
茎数 (本/株)	6月20日	5.3	4.5	0.8
	7月20日	5.0	4.4	0.6
枯凋期における				
上いも数	(個/株)	11.7	10.9	0.8
上いも平均一個重	(g)	82	82	0
上いも重	(kg/10a)	4260	3876	384
中以上いも重	(kg/10a)	3494	3127	367
でん粉価	(%)	15.9	14.6	1.3
上いも重平年対比	(%)	110	100	10
中以上いも重平年対比	(%)	112	100	12
でん粉価平年対比	(%)	109	100	9

注)平年値は前7か年中、平成11年(最凶)、13年(最豊)を除く5か年平均。

「上いも」は21g以上、「中以上いも」は61g以上のいもである。

## 6. てんさい 作況：良

事由：播種期は3月24日で平年より12日早かった。移植期は5月2日で平年より2日早く、移植時の苗質は良好であった。移植直後から6月下旬まで、高温・多照・少雨で経過したため、生育は早魑気味ながら平年を上回る順調な生育を示した。7月上旬から10月中旬の収穫期まで、概ね低温、平年並の降水量と日照で経過したため、地上部生育と根部肥大はやや緩慢ながらも順調な生育を示し、褐斑病や根部病害の発生もほとんど認められなかった。収穫期は10月14日で、平年より2日遅かった。茎葉重は7.57t/10aで平年比156%、根重は9.02t/10aで平年比118%と大きく上回った。根中糖分は15.96%で平年並みで、糖量は1,440kg/10aで平年比117%と平年値を大きく上回った。

以上により、本年の作況は良である。

品種名(栽培法) 項目 \ 年次		モノホマレ(移植)		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	3.24	4.05	12
移植期	(月.日)	5.02	5.04	2
収穫期	(月.日)	10.14	10.12	2
草丈  (cm)	5月20日	5.4	4.7	0.7
	6月20日	31.2	27.2	4.0
	7月20日	54.6	55.5	0.9
	8月20日	60.4	62.2	1.8
	9月20日	62.4	61.9	0.5
	収穫期	62.3	60.7	1.6
葉数  (枚)	5月20日	5.6	3.1	2.5
	6月20日	12.8	11.2	1.6
	7月20日	22.1	20.8	1.3
	8月20日	30.6	26.2	4.4
	9月20日	37.4	30.5	6.9
	収穫期	39.2	30.9	8.3
根周  (cm)	7月20日	23.8	23.0	0.8
	8月20日	32.6	29.7	2.9
	9月20日	35.7	33.7	2.0
	収穫期	36.8	35.2	1.6
茎葉重	(t/10a)	7.57	4.84	2.73
根重	(t/10a)	9.02	7.67	1.35
根中糖分	(%)	15.96	16.02	0.06
糖量	(kg/10a)	1440	1231	209
根重平年対比	(%)	118	100	18
根中糖分平年対比	(%)	100	100	0
糖量平年対比	(%)	117	100	17

注) 平年値は前7か年中、平成10年(最豊)、12年(最凶)を除く5か年平均。

耕種概要

平成13年度よりすべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

	一区面積 (m <sup>2</sup> )	反復	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	一株本数	播種粒数 (粒/m <sup>2</sup> )	株数 (株/10a)
秋まき小麦	9.6	4	緑肥	30	条播	-	340	-
春まき小麦	7.2	4	緑肥	30	条播	-	340	-
大豆	25.2	3	春まき小麦	60	20	2	-	8,333
小豆	8.4	3	緑肥	60	20	2	-	8,333
ばれいしょ	10.8	3	菜豆・大豆	75	30	1	-	4,444
てんさい	14.4	4	小豆	60	23.8	1	-	7,003

	10a当たり施肥量(kg)				
	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO	堆肥
秋まき小麦	4.0+6.0	12.5	5.0	-	3,000
春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0	3,000
大豆	1.5	11.0	7.5	3.5	-
小豆	4.0	19.2	9.2	2.4	-
ばれいしょ	10.4	16.8	14.0	5.0	3,000
てんさい	15.4	25.2	16.8	5.6	3,000